

論文審査の結果の要旨及び担当者

報告番号	博（医）乙第1780号	氏名	喜多篤志
論文審査担当者		主査教授	山下俊一
		副査教授	松山俊文
		副査教授	下川 功
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価</p> <p>本研究は、ヒトアディポネクチン遺伝子転写に必要なプロモーター領域を同定する為に、CCAAT/エンハンサー結合蛋白βと腫瘍壊死因子αとの関係を検索したもので、目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2 研究手法に関する評価</p> <p>3T3-L1 前駆脂肪細胞の分化誘導による成熟脂肪細胞を用いて、異なる種類のヒトアディポネクチン遺伝子プロモーター領域を有するルシフェラーゼ発現ベクターを作成後、一過性に遺伝子導入し、分子生物学的に解析したもので、研究手法も妥当である。</p>			
<p>3 解析・考察の評価</p> <p>上記手法で解析した結果、ヒトアディポネクチン遺伝子プロモーター領域の基礎転写活性領域が明らかにされ、更に恒常活性型 CCAAT/エンハンサー結合蛋白β領域の転写活性増強と腫瘍壊死因子αによる負の調節が明らかにされ、今後の病態解明がさらに進展するものと期待される。</p>			
<p>以上のように本論文はヒトアディポネクチン遺伝子発現調節機序解明に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			